



食と農を守るイノチのミズ

私たちの健康と食べる喜びを支え、ふるさとの景観や人と人とのつながりをつくり、大切な産業でもある農業。その農業に欠かせないのが水です。このように生命を支えはぐむ農業の水は、どこからどうやって、必要とする全ての場所に流れ着き、そして必要のないときには流れ出ていくのでしょうか。田んぼや畑に水があるのは当たり前？ いいえ違います。大切に守っている人たちがいるから、イノチのミズがあるのです。どうやって水は届けられ、どのように使われ、どんな食べ物が生み出されているのか。一緒に見に行きましょう。



3年目を迎えた本年度の「水利が拓く 実りの明日へ」キャンペーンでは、国営土地改良事業が進む柏崎周辺地区（柏崎市、刈羽村）と新川流域地区（新潟市、燕市、弥彦村）に加え、魚沼地域の農業を取り上げます。昨年度に引き続き、旅するイラストレーター、木原四郎さんが現地の水利施設や生産者をスケッチで紹介。また、魚沼市内の水利施設を巡り農産物を収穫する親子・学生対象の「農業体感ツアー in 魚沼」を9月に開催します。来年1月には、新潟日報メディアシップでシンポジウムを開き、新潟の農業の展望と水利の恵みについて考えます。詳細は新潟日報朝刊紙面やキャンペーン特設サイトをご覧ください。

◎「水利が拓く 実りの明日へ」キャンペーン 特設サイトもご覧いただけます

特設サイトでは、水利・農業に関する情報や、土地改良事業の役割を発信しています。ダムや頭首工など県内の水利施設の紹介や、アーカイブとして過去の紙面もアップしています。 [水利が拓く 実りの明日へ](https://minori-niigata.jp/) <https://minori-niigata.jp/>



お問い合わせ

「水利が拓く 実りの明日へ」キャンペーン事務局（新潟日報社広告部内）
新潟市中央区万代3-1-1 ●TEL 025-385-7474（土日祝日を除く／10:00～17:00）
●ファクス 025-385-7476 ●Eメール minori@niigata-nippo.co.jp

企画・制作 新潟日報社広告部
◎主催／農林水産省北陸農政局 ◎共催／新潟日報社
◎後援／新潟県、新潟県土地改良事業団体連合会、JAグループ新潟